

核兵器のない世界、非核平和の日本へ

国連軍縮週間(10 / 24~30) —あなたの署名を

核兵器廃絶へ新たな希望

オバマ米大統領が核兵器を使った唯一の国としての「道義的責任」を認め、「核兵器のない世界」のために行動すると宣言し、世界に新たな希望が生まれました。

9月24日、国連安全保障理事会は核兵器問題で首脳級会合を初めて開き、「核兵器のない世界」をめざす決議を全会一致で採択しました。オバマ演説から半年、2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議を焦点に国際政治の舞台で「核なき世界」にむけた努力がはじまりました。

1946年1月、国連総会はその第1号決議で、核兵器廃絶を求めました。いまこそ、その実現に向けて世界の人びとが一致して、核兵器をなくすために行動するときです。

日本からさらに大きな世論を

日本でも新しい政権が誕生しました。鳩山首相は安保理会合で演説し、「唯一の被爆国としての道義的責任」として、核兵器を「持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則の堅持を表明し、核兵器廃絶の先頭に立つ決意を述べました。

日本は、実際に原爆の被害を体験した国として、国際政治に対してものをいう権利も義務ももっています。その声は世界を動かす力もっています。力を合わせて核兵器禁止の実現をさらに強くよびかけましょう。

1200万の署名をニューヨークへ

核兵器廃絶のチャンスを生かすために、アメリカをはじめ核保有国政府、そしてすべての政府に、核兵器全面禁止・廃絶条約の締結にむけ、具体的一步を踏み出すよう求めましょう。そのために、来年5月にニューヨークで開かれるNPT再検討会議に、日本国民の1割、1200万の署名を提出します。あなたもぜひ、「核兵器のない世界を」国際署名にご協力ください。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>